

## 第6回「和歌山ぶらくり会」を開催しました

令和7年3月15日（土）和歌山商工会議所4階第二会議室にて第6回「和歌山ぶらくり会」を開催しました。

19名の参加を頂き、紀学同窓会からも岡村同窓会長はじめ7名の方に参加頂きました。

今回の卓話講師は、教育学部37期、大学院1期の竹川裕之氏（近畿国立大学附属学校教育後援会連絡協議会 理事長、和歌山大学教育学部附属中学校教育後援会 会長）で

卓話テーマは：「誰もが暮らしやすい共生社会を目指して！！」

～ 障がいを知り共に生きる「あいサポーター研修」～

なお、教育学部50期 山口康平氏 和歌山大学教育学部附属中学校教諭（社会科）が、講師補助として研修を助けて下さいました。



山中支部長 開会挨拶



竹川講師 卓話

障がいを知り 共に生きる



聴講風景



障がいを持った子と、バスで同乗したらどう振舞うか 無関心を装うは駄目  
優しく見守り 必要なら手助けする



車椅子実習 障がい者の目線で声掛けして



手話実習 相互理解出来れば壁は無くなる



視力障がいの人が助けを求めている  
前方から近づき「お手伝いしましょうか」



肩に手をおいてもらい  
障がい者の歩調に合わせてゆっくり誘導



全員起立してアイ・サポーター宣言を唱和



研修終了  
ハンドブックとバッチ  
をもらった。

### 《講師自己紹介》

石川県金沢市出身。市内最大手進学塾で7年間講師として活躍。

2000年に独立してforce（フォース）を設立。講師歴33年。

2020年にforce研究実践事業部を設立。

酸化チタン光触媒『nano force one（ナノフォースワン）』を使って、すべての人々が安心して暮らせる環境の創造をめざしている。

また、提携企業の研修と研究も担当。